

YOSHIOKA Hiroaki

Retrospective

2025 11/15 (土)
... 12/21 (日)

休館日 月曜日、11/25(火)
ただし11/24(月・休)は開館

開館時間 10:00 - 17:00
(入場は16:30まで)

観覧料 一般800円(640円)
高・高専・大生400円(320円)
小・中生以下無料
()内は20名以上の団体料金

市内在住・在学の高校生、市内在住の65歳以上の方、
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。
受付に証明書をご提示ください。

《11/21(金)はあいちウィーク期間中の「県民の日学校ホリデー」
のため、観覧無料。》

主催 | 碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会
共催 | 中日新聞社

ゲストキュレーター | 栗田秀法(跡見学園女子大学教授)

碧南市藤井達吉現代美術館

吉岡弘昭展
哀しみとおかしみを湛えた不思議な魅力



YOSHIOKA Hiroaki Retrospective

哀しみとおかしみを湛えた不思議な魅力

名古屋市を拠点に活動する画家・吉岡弘昭は、現代社会のありさまやそこに生きる人間の生の深淵を見つめる表現で群を抜く存在です。ユーモラスに表現された人間、犬、鳥などのモチーフは、哀しみとおかしみを湛えた不思議な魅力を放っています。

1942(昭和17)年、名古屋市に生まれた吉岡は独学で油彩画をはじめました。1963(昭和38)年の二科展初入賞以降、順調に画家としての歩を進めるな



《オニゴッコ》1963年 作家蔵

か、1969(昭和44)年より突如、銅版画の発表をはじめます。銅板を直接彫り込んだドライポイントによる《変身シリーズ》で版画家としての頭角を現し、《鳥女幻想シリーズ》ではルーレットの使用やメゾチントによる面の表現が加わることで版表現がより深化していきます。1970年代後半からはユーモアあふれる動物

や人間、記号が躍動する多色刷銅版画や水彩画、アクリル画を手がけ、独自の寓意的な作品世界を展開しました。近年でも創作意欲は衰えることなく、プリントとペインティングを往還しながら、描くことの根源的な意味に迫ろうとしています。また他方で、1960年代より北川民次らの創造的な美術教育に影響を受け、幼児や児童への美術教育活動にも精力的に携わり続けています。



《WIRE MAN No.1》1992年 作家蔵



《赤く彩色された人》1998年 作家蔵

表紙:《東方から来た人》(部分)2015年 作家蔵 カット:《彩色された風博士》(部分)2014年 個人蔵

か、1969(昭和44)年より突如、銅版画の発表をはじめます。銅板を直接彫り込んだドライポイントによる《変身シリーズ》で版画家としての頭角を現し、《鳥女幻想シリーズ》ではルーレットの使用やメゾチントによる面の表現が加わることで版表現がより深化していきます。1970年代後半からはユーモアあふれる動物

① 記念対談

演題:「プリントとペインティングの往還」

講師:吉岡弘昭 氏(画家)

栗田秀法 氏(跡見学園女子大学教授
本展ゲストキュレーター)

司会:木本文平(当館館長)

日時:11月15日(土) 14:00~15:30

場所:地下1階・多目的室B

定員:50名 聴講無料

② 記念講演会

演題:「吉岡ワールドの創出」

講師:木本文平(当館館長)

日時:11月23日(日) 14:00~15:30

場所:地下1階・多目的室B

定員:50名 聴講無料

③ アーティストトーク

講師:吉岡弘昭 氏(画家)

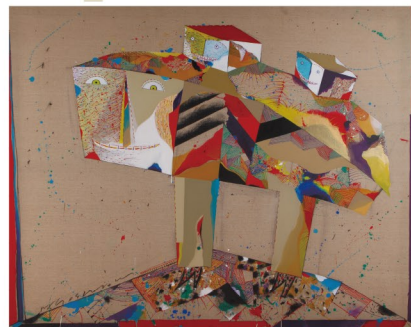
日時:11月30日(日) 14:00~15:00

定員:50名 聴講無料

観覧券をお持ちのうえ、
地下1階・多目的室Bにお集まりください。



《変身シリーズ No.1》1969年 作家蔵



《人・犬・宇宙(鳥の工場)》1985年 作家蔵



《GON & BEN (YELLOW)》1976年 作家蔵

④ ワークショップ「らくがきランド」

吉岡さんの作品を見たあと、自由にらくがきをして楽しみましょう。

日時:12月6日(土) 10:00~12:00

講師:吉岡弘昭 氏(画家)

対象:3歳から小学生(小学2年生までは保護者同伴)

参加費:100円 定員:12名(先着順)

場所:地下1階創作室



《月を喰べた子》1978年
医療法人こうけつ耳鼻咽喉科蔵

⑤ コンサート「歌とフルートで描く冬の情景」



日時:12月7日(日) 15:00~16:00

出演:寛 聡子 氏(メゾソプラノ)

寛 孝也 氏(フルート) 金田紗希里 氏(ピアノ)

会場:1階ロビー 定員:50名(先着順)

⑥ ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会)

11月24日(月・祝)、12月13日(土)・21日(日)

14:00から約30分

予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

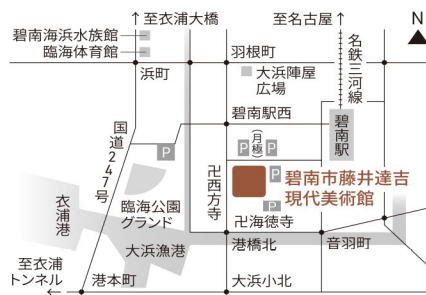


《赤色の中の犬》2018年 作家蔵

次回の企画展「新収蔵品展(仮)」2026年4月1日(水)~5月10日(日)

※2026年1~2月はLED化工事のため休館します。

①~⑥ともに10月3日(金)10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。
電話にて①氏名②電話番号③参加人数をお知らせください。



交通のご案内

●名鉄名古屋本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分

●JR東海道本線と名鉄をご利用の場合
JR「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分

●知多半島道路・阿久比インターから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折)

※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地

TEL 0566-48-6602 FAX 0566-48-6603

E-mail museum@city.hekinan.lg.jp

http://www.city.hekinan.lg.jp/museum/

Homepage



Instagram



碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKIHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART